特別賞（全国地産地消推進協議会会長賞）

株式会社ＪＡシンセラ
～学校給食における地産地消の先進的な取組～

代表者： 代表取締役　藤尾東泉　　構成員： 従業員100名、生産者470名
所在地： 岩手県盛岡市　　　　　　活動開始年月日： 平成17年1月

表彰理由

農協100％出資子会社が、その組織力を活かして、矢巾町の学校給食への食材の一括供給に取組み、食を通じた教育のために町内産の食材を優先的に使用。平成19年度の町内産利用率は55％と、以前の約9倍に増加させ、学校給食における地場農産物の利用推進に係る優れた取組。

年間を通して、地元産食材を多くの人に食べてもらうため、地域内の農商工連携による商品開発に取り組む。地元の中小の製造業者や社会福祉施設と共同で開発したオリジナル商品は、直売所で販売するほか学校給食へも供給し、年間を通じた町内産食材の提供に貢献。

取組内容

1　学校給食において地場農産物を利用する取組

○　学校給食への食材供給について、町内産を最優先し、町内産を供給できない場合は、ＪＡ管内産、県内産、国産の順で供給。

○　学校給食で地場産食材を使用する際に鍵となる栄養士や生産者の理解を得るため、定期的な打合せを実施。

○　地元生産者が出荷できない食材を、かつて学校給食に食材供給していた青果業者から購入することにより、一括供給体制へスムーズに移行。

○　学校給食用24時間開放冷蔵庫を設置することにより、生産者の負担を軽減。

○　学校給食の規格から外れた農産物を、地元の食材加工協同組合と連携することにより、カットした地元産野菜として学校給食センターに供給。

2　農商工連携による商品開発

○　直売所では、地場産食材を加工して付加価値のある商品として販売することを進めており、直売所で販売している野菜と果樹を使用した「ベジ×フルジェラート」は、果物の新たな食べ方として好評。また、地元産小麦粉を使用した「手作りカリント」も直売所の人気商品。

○　直売所で販売する菓子の開発、製造を地域の障害者施設と共同で行い、自立支援に貢献。

○　地元のもち米を活用した商品や豆腐、納豆、餃子等のオリジナルの地産地消商品を地元の中小の各種製造業者と共同で開発。直売所、学校給食などで販売、使用。

3　直売所における取組

○　生鮮野菜を始めとし、県内産の魚、肉を販売するワンストップショップを実現。年間販売額は7億円を超える県内有数の直売所。